

「青天白雲塾」

- ◆ 対象 大手企業 経営幹部を嘱望されているミドルマネジメント層のみなさま
- ◆ 目的 数百年単位で歴史を見わたすと、現在が大きな転換点に立っていることが見えてきます。あらゆる分野における自然科学の制覇、主権国家を凌駕するようなプラットフォーマーの出現、期待と不安の源泉である人工知能（AI）の台頭、近代の理念（自由・平等・友愛）の無効を宣告するような権威主義国家の出現、先進国で進む民主主義の自信喪失とポピュリズム、そして主権国家と国際関係の理念を破壊する侵略戦争。世界と日本と自社の今後を領導する存在になると期待されているみなさまに、自己啓発的な通り一遍の知識・教養を超えて、文明の根源的な課題をリベラルアーツ（人文知）から汲みとり、危機を開拓する知的資源を整えていただきます。

2026年度 募集概要

| | |
|---------|--|
| 研修期間 | 2026年6月～12月のうち、約7か月 (講座日数10日程度 / 基本的に平日の10時から17時) |
| 受講対象 | 大手企業 経営幹部を嘱望されているミドルマネジメント層のみなさま 各社4名以上～8名以内。定員は40名程度 |
| 申込受付期間 | 第一次募集締め切り…2026年2月末日 第二次募集締め切り…2026年4月末日 |
| お問い合わせ先 | office@fushikian.jp 電話：03-3292-0320 「青天白雲塾」担当 |

2025年度「青天白雲塾」の取り組み

◆ 講座の特徴

AIが人間の知能を追い越し、あらゆる分野において人間を凌駕するという人もいる。

そういった時代に、我々の生き方や仕事のあり方はどう変わっていくべきか？

講義前半は「人間とは何か？AIとは何か？その差分はどこにあるのか？」というファンダメンタルなテーマを学びます。

後半は「AI時代に問われる、倫理・人事制度・企業理念とは？」といった身近な経営テーマを中心に据えます。

◆ 2025年度プログラム概要

| | テーマ | 講師 |
|--|---|---------------------------------|
| 第1部 「人間とは何か、技術とは何か」——人間とAIの差異を考察する | | |
| オリエンテーション（1泊2日合宿） | | |
| | オリエンテーション | |
| 第1回 | 高度AI時代のリベラルアーツ 「AI時代をどう生きるか、本講座の主要な論点を理解する」 | 中谷巖（不識庵代表） 小川尚登（不識庵社長執行役員） |
| 第2回 | 人間とは何か 「西洋哲学の大きな流れを掴む」 | 斎藤哲也先生（人文ライター、不識塾師範） |
| 第3回 | 技術とは何か 「技術と人間のかかわりを哲学的に考察する」 | 佐藤岳詩先生（専修大学教授） |
| 第4回 | 脳とAIの共通点と差異を学ぶ（1/2） 「脳とAIの推論のメカニズムを学ぶ」 | 乾敏郎先生（京都大学名誉教授） |
| 第5回 | 脳とAIの共通点と差異を学ぶ（2/2） 「二重過程理論——意志決定の仕組み」 | 阿部修士先生（京都大学教授） |
| 第2部 「AI時代に問われる哲学・倫理・制度」——リベラルアーツ×経営テーマ | | |
| 第6回 | 「謝罪」をテーマに、言葉とは何かを考察する [経営テーマ] 謝罪から、企業の社会責任について考える | 古田徹也先生（東京大学大学院准教授） |
| 第7回 | AI時代の公共倫理 [経営テーマ] AI時代の社会・倫理・制度の関連性 | 朱喜哲先生（大阪大学招へい准教授） |
| 第8回 | AI時代における秩序と制度——同型論から制度を見直す [経営テーマ] 最適なFA制度やジョブローテーションについて考える | 西山圭太先生（東京大学客員教授） |
| 第9回 | AIと社会の行く末 | 大澤真幸先生（社会学者） 小川尚登（不識庵社長執行役員） |
| 最終発表会（公開講座） | | |
| 第10回 | 講義で学んだ、人間とAIの共通点や差異などを踏まえ、リーダーとして、将来あなたの会社をどうしたいか (個人発表) | |